

## 新体操男子規則集 2015年版 訂正と追加および変更の一覧

## 1 訂正について

シ	条項	誤	正
P6	第28条6(2)	種目別競技者権	種目別選手権
P8	第39条3	図(2)長方形の底辺が4.5cm	4.0cm
P18	第24条1	実施審判より減点:0.20	実施主任審判より減点:0.20
P30	第52条3(4)	2回以上の連続前まわし跳び	その場での2回以上の連続前まわし跳び
P30	第52条3(5)	2回以上の連続後ろまわし跳び	その場での2回以上の連続後ろまわし跳び
P37	第66条-2	団体競技は3~5名以上が実施した場合	団体競技は6名未満の全員が実施した場合
P40	第67条-5	※宙返り以外の技では2-3...	※宙返り以外の技では2-4...
P41	第67条-6	5 ロンダードまたは前転とびから...	5 ロンダードまたは前転とびから...
P47	徒手系難度 図解	バランス4 足を保持した180° 開脚片足平均立ち 基礎難度 C	基礎難度 B
P50	転回系難度 図解	前方系の跳躍技14 前方宙返り転 6名実施 D	<del>6名実施 C</del> → 2018年2月削除

## 2 追加および変更について

シ	条項	内容	追加および変更内容
P8	第39条-3	訂正	一辺が4.5cmで辺の交わる角度が60°と120°の菱形
P10	第45条-3	変更	伴奏音楽は楽器(シンセサイザーを含む)で演奏されたもの、または人の声に限る。歌詞のある伴奏音楽を使用する場合、使用者はその歌詞に不適切と感ぜられる内容が含まれていないかを確認し、適切なもののみ使用することができる。ここでいう不適切なものとは暴力的、差別的、卑猥な内容が含まれるもの、過度に受けを狙った歌詞など新体操の品位を損なう恐れのあるものとする。
P11	第49条	追加	1 競技に使用する器具ならびに手具は、(公財)日本体操協会認定規格による。 2 個人競技の際には予備手具を競技面の縁に置かなければならない。
P17	第22条	変更	全文削除し下記を追加 不適切な伴奏音楽の使用 構成得点を0点とする。
P18	第22条-4	追加	3秒以上の停止→そのまま 10秒以上の停止→構成審判より減点0.50点を追加
	条外	追加	追加規則 1 禁止技 転回系において、1回を超える回転をともなった転を禁止技とする。
P20	第29条-3	変更	徒手の要求要素 柔軟(2秒静止) 座位または臥位で股関節開脚や体の前屈をするもの



シ	条項	内容	追加および変更内容																																		
P35	第 65 条	変更	著しく欠けた場合 減点…0. 50点 大きく欠けた場合 減点…0. 40点 欠けた場合 減点…0. 30点 少し欠けた場合 減点…0. 20点 わずかに欠けた場合 減点…0. 10点 ※上記に当てはまらないわずかな差は0. 05点の差を付けて減点しても良い。																																		
		追加	<table border="1"> <tr><td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl;">身体の動きの技術</td><td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl;">徒手の技術</td><td>全体を通じて美しい姿勢に欠けた場合</td><td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl;">上記欠点基準に準じる</td></tr> <tr><td>全体を通じて柔軟性に欠けた場合</td></tr> <tr><td>全体を通じてみぞおちから始まる動きや、その自然性や深さ、大きさに欠けた場合</td></tr> <tr><td>全体を通じて動きの間やアクセントに欠けた場合</td></tr> <tr><td>跳躍の高さに欠けた場合</td></tr> <tr><td>全体を通じて四肢の動きの制御に欠けた場合</td></tr> <tr><td>全体を通じて踵を引き上げた動きに欠けた場合</td></tr> <tr><td>全体を通じて張りや活気にかけての場合</td></tr> <tr><td>全体を通じて運動のつなぎの技術に欠けた場合</td></tr> </table>	身体の動きの技術	徒手の技術	全体を通じて美しい姿勢に欠けた場合	上記欠点基準に準じる	全体を通じて柔軟性に欠けた場合	全体を通じてみぞおちから始まる動きや、その自然性や深さ、大きさに欠けた場合	全体を通じて動きの間やアクセントに欠けた場合	跳躍の高さに欠けた場合	全体を通じて四肢の動きの制御に欠けた場合	全体を通じて踵を引き上げた動きに欠けた場合	全体を通じて張りや活気にかけての場合	全体を通じて運動のつなぎの技術に欠けた場合																						
身体の動きの技術	徒手の技術	全体を通じて美しい姿勢に欠けた場合	上記欠点基準に準じる																																		
		全体を通じて柔軟性に欠けた場合																																			
		全体を通じてみぞおちから始まる動きや、その自然性や深さ、大きさに欠けた場合																																			
		全体を通じて動きの間やアクセントに欠けた場合																																			
		跳躍の高さに欠けた場合																																			
		全体を通じて四肢の動きの制御に欠けた場合																																			
		全体を通じて踵を引き上げた動きに欠けた場合																																			
		全体を通じて張りや活気にかけての場合																																			
全体を通じて運動のつなぎの技術に欠けた場合																																					
P36	第 65 条	追加	欠点表「身体の動きの技術」のに追加 <table border="1"> <tr><td rowspan="3">音楽との調和</td><td>音楽が演技を妨害している場合</td><td>0. 20点</td></tr> <tr><td>音楽が著しく大きい場合</td><td>0. 20点</td></tr> <tr><td>終末動作と音楽が一致しなかった場合</td><td>0. 20点</td></tr> </table>		音楽との調和	音楽が演技を妨害している場合	0. 20点	音楽が著しく大きい場合	0. 20点	終末動作と音楽が一致しなかった場合	0. 20点																										
音楽との調和	音楽が演技を妨害している場合	0. 20点																																			
	音楽が著しく大きい場合	0. 20点																																			
	終末動作と音楽が一致しなかった場合	0. 20点																																			
P40	第 67 条-5	追加	8 B難度の宙返り直ちにC難度の宙返り 基礎難度 D 6人実施 D																																		
P41	第 67 条-6	追加	8 A難度の転回から後ろとびひねり前転 基礎難度 B 6人実施 B																																		
P45	第 71 条-1	追加	手具操作を投げで行った場合は第 70 条の条件と比較して高い方の難度を採用する。																																		
	第 71 条-2	追加変更	ロープの演技において実施した跳びは、その中の最も難度の高い技を徒手系難度として数える。 (1) 連続した跳びまたは単独で行った跳びを一つの難度として数える。 (2) 連続した跳びは、その中の最も高い難度を採用する。 (3) 同じ跳びは難度を重複して数えない。 (4) 難度は下表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="528 1554 1422 1877"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">前跳び</th> <th colspan="2">後ろ跳び</th> </tr> <tr> <th>クロスなし</th> <th>クロスあり</th> <th>クロスなし</th> <th>クロスあり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1重跳びの連続</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td><td>A</td></tr> <tr><td>2重跳びの連続</td><td>A</td><td>B</td><td>B</td><td>C</td></tr> <tr><td>3重跳び</td><td>B</td><td>C</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>4重以上の跳び</td><td colspan="4">D</td></tr> <tr><td>3重以上の跳びを3回以上連続</td><td colspan="4">D</td></tr> </tbody> </table> ※クロスありとはその跳びのなかで一度でもクロス跳びがあるものを指す			前跳び		後ろ跳び		クロスなし	クロスあり	クロスなし	クロスあり	1重跳びの連続	A	A	A	A	2重跳びの連続	A	B	B	C	3重跳び	B	C	C	D	4重以上の跳び	D				3重以上の跳びを3回以上連続	D		
	前跳び		後ろ跳び																																		
	クロスなし	クロスあり	クロスなし	クロスあり																																	
1重跳びの連続	A	A	A	A																																	
2重跳びの連続	A	B	B	C																																	
3重跳び	B	C	C	D																																	
4重以上の跳び	D																																				
3重以上の跳びを3回以上連続	D																																				
P68	3-1-1	変更	6m以上の移動を伴う3回以上の連続跳び																																		

## 3 削除

ページ	条項	内容	削除内容
P22	第33条	削除	制限技 全文削除
P38	第66条-2	削除	柔軟 4 胸支持で後ろ反りをし、床に足をつける。
P39	第67条-2	削除	前方系 14 前方(かかえ込み・屈伸)宙返り転
P40	第67条-3	削除	後方系 15 後ろとび1回半ひねり前転 16 後ろとびひねり2回半ひねり前転 20 後ろとびひねり前方(かかえ込み・屈伸・伸身)宙返り転
P48	徒手難度	削除	柔軟 4 胸支持で後ろ反りをし、床に足をつける。
P50	転回難度	削除	前方系 14 前方(かかえ込み・屈伸)宙返り転
P51, 52	転回難度	削除	後方系 15 後ろとび1回半ひねり前転 16 後ろとびひねり2回半ひねり前転 20 後ろとびひねり前方(かかえ込み・屈伸・伸身)宙返り転
P63	4-3-3	削除	スティックの演技② 削除
P67	4-3-5	削除	リングの演技② 削除
P69	4-3-4	削除	ロープの演技② 削除
P72	4-3-3	削除	クラブの演技① 削除